

～さわやかな

笑顔

みどり学年～

明石市立二見中学校

71 回生

第 3 学年 学年通信

平成 30(2018)年 6 月 22 日 (金)

NO. 131

## 総体迫る！

いよいよ部活の3年間の集大成を発揮するときがやってきました。明石市総合体育大会が始まります。6月18日には、壮行会がありました。振興会会長の倉内様からは、「緊張しないために、3つの事を実践してください」とアドバイスをいただきました。

「①深呼吸をする②背中をたたいてもらう③大声を出す」の3つでした。プレッシャーとの戦いでもある総体です。できる限りいつも通りのパフォーマンスができるように、コンディションを整え、71回生の底力を発揮してきてください。

(6月20、21日神戸新聞掲載)



学校対抗では  
野々池最有力

〔陸上〕  
男子短距離は古山(衣川)、山本(魚住東)が有力。400mは北垣・西田の久保勢中心に混戦。長距離は國安(大久保)、岩崎(朝霧)の好記録に期待。ハードルは野々池、中嶋(二見)の争いを狙う。四種競技と走高跳は野々池、田久保北が2冠を狙う。走高跳、三級跳は山本・愛甲・文谷(野々池)が有力。砲丸投は岡本(大久保北)、円盤投は蔵田(二見)、清水(野々池)が頭一つ抜けて

中学総体12競技展望  
① 安藤(大久保)中心に混戦。投ぎは野々池(二見)が2冠を狙う。四種競技は松本(大久保北)がややリド。リレーは男子女子が久保、衣川、野々池が優勝を争う。学校対抗は、昨年度新人大会優勝の野々池が最有力。大久保、朝霧あた

女子短距離は重田(衣川)、市野々池、谷川(魚住東)を中心に混戦。長距離は宗佐(朝霧)がリド。ハードルは河野・鈴木(野々池)、走高跳は斎藤等(野々池)が有力。走高跳は団体戦は大久保、魚住東が

個人・団体とも  
女子魚住東優勢

〔ソフトニス〕  
(28、29日)男子は海浜公園、女子は明石公園。男子の個人戦は秋、春と連覇した岩崎・細屋(大久保北)を中心に各校の大将ベアが上位を狙う。団体戦は大久保、魚住東が

新人大会V魚住  
優勝候補の筆頭

〔ソフトボール〕  
(28日)野々池中心。新人大会を制し、東播新人でベスト4になった魚住が優勝候補の筆頭。主将丸尾を中心とする強力打線と豊富な投手陣の出来が勝敗を握る。新人大会では2位ながら、春季大会を制した野々池は勢いがあり、古賀と平井のバッテリーを中心に投打のバランスがとれている。

優勝候補筆頭  
男子は江井島

〔バスケット〕  
(28、29日)衣川中、大久保中。男子は4月の市内大会を制した江井島が優勝候補筆頭。それを魚住、大久保、望海の3校が追う展開。シード校との差は縮まってきており、東播総体出場をかけた2回戦に注目が集まる。女子は4月の市内大会を制した朝霧を中心に、成長著しい大久保、東播新人ベスト4の大蔵、シード校の望海が追う展開。東播総体出場枠は4校。他のチームもシード校撃破を虎視眈々(たんたん)と狙っている。



試合巧者そろう  
男子団体の大蔵

〔剣道〕  
(28、29日)魚住中。男子は稲田を筆頭に試合巧者のそろった大蔵が本命。森本を軸としたチームバランスのよい魚住、まきらのある二見、江本・細目の二校看板を擁する大久保が続く。女子は層の厚い魚住に、春季大会2位の大久保、勢いに乗る野々池、他は強い二見が争いを狙う。男子個人は混戦模様。各校大將級の選手にチャンスがある。女子個人は実力・経験共に豊富な山口・神代(魚住)が筆頭。その2人に森(朝霧)は開上(大久保)がどう戦うか。

中学総体12競技展望  
② シングルスは海、激しい争いに  
卓球

(28、29日)大久保北中。男子団体は東播新人総体で準優勝の朝霧が最有力。次いで県新人大会に出場した望海が続く。3位以下は力が拮抗(きつこう)していて接戦が予想される。女子団体は明石市新人総体優勝の望海を、本大会で通覇を狙う朝霧などが追う。近年まれに見る混戦状態だ。男子シングルスは小野(朝霧)、伊藤(同)、山下(同)、植田(大久保)、女子シングルスは竹田(二見)、伊藤(同)、寺岡(大久保北)、青柳(望海)を中心

海を中心に激しい争いが予想される。頭一つ抜け望海、大久保など追う

〔軟式野球〕  
(28日)7月1日(明石公園)野球場。シード校は、春季大会上位4校の望海、大久保、魚住、二見が争いを狙う。男子個人は、春季大会2位の大久保、勢いに乗る野々池、他は強い二見が争いを狙う。男子個人は実力・経験共に豊富な山口・神代(魚住)が筆頭。その2人に森(朝霧)は開上(大久保)がどう戦うか。

男女とも混戦  
熱い試合期待

〔バレー〕  
(28、29日)明石中央体育会館。男子は春季の市内大会を制した大久保北が総体連覇に向け勢いに乗る。新人大会優勝の二見、同2位の大久保に加え、錦城、大蔵、望海と6校のひしめき合う大混戦。東播大会出場枠の4枠を争い、熱い戦いが期待される。女子は新人、春季大会2位の大久保が筆頭だが、追う高丘

女子は望海有力  
男子は実力拮抗

〔ハンドボール〕  
(28、29日)大蔵中、魚住中。女子は昨年度に引き続き、望海が優勝候補。機動的なキックが持ち味のGK鶴岡を筆頭に、堅守速攻を武器に

男子は実力拮抗

〔アイスホッケー〕  
(30日)二見中。男子は自由形中距離の長島(野々池)、平泳ぎでは重塚(大久保)が目玉で、全国大会に向けて好記録が期待される。男子のリレー種目は今年もレベルが高く、大久保、二見、高丘、朝霧、大久保北が争いを狙う。女子は自由形中距離の中島(大蔵)に好記録が期待される。男子は新人戦を制した魚住に、大久保北と望海がどこまで迫るか。今年も上級大会を目指して、白熱したレースが繰り広げられる。